

令和7年9月

氷見市地域おこし協力隊活動報告

氷見市地域おこし協力隊
三上 啓

自己紹介



名前 三上 啓

出身地 富山県高岡市

2020年
脱サラ

2021年
農泊をしながら九州縦断
農業に興味を抱く

2022年4月
地域おこし協力隊になる
有機農業が活発&子育て支援が充実そんな
氷見に魅力を感じる

2022年11月
出産（1年間の産休・育休）

2023年10月
協力隊として再スタート

活動場所

布勢地区



人口

1,290人/459世帯（令和6年時点）

特徴

2023年地域づくり協議会設立

観光スポットがある（布勢の円山、光久寺）

保育園、小学校、中学校がある

ミッション

農業の担い手として栽培技術、農機具の操作技術、資格を身に着ける。

布勢地区の方々と協力し風土に合った特産品作りで六次産業化を目指す。

放置竹林を整備すると共に、竹の新たな活用方法を考える。

これまでの活動 農業分野

にんにく栽培の拡大

収量 2022年150kg 2025年270kg



商品開発

黒にんにくチョコレート 神代温泉水を使用した黒にんにく



農業体験の受け入れ



朝市の開催・出店 子供向け収穫体験の実施



これまでの活動 林業分野

各種イベント開催
(20回開催／約400人参加)



ネットワーク設立
ひみ竹林ネットワーク Team Viva Bamboo



里山杉活用協議会と連携
竹林整備・作業道づくり講習会の開催



先進地視察
メンマ作りを学ぶ



今後の活動

- 氷見産メンマの商品化
ラーメン店向けに塩漬けメンマを販売し、
竹林保全と地域振興の両立を目指す。
- 林内作業道作りの技術習得
管理効率の向上と、交流を生み出す竹林を目指す。
- 黒にんにく販路拡大
農産物の付加価値向上と収益の拡大を目指す。



気づき

- 自然相手の農業を習得する難しさ

- 大変な役割ほど学びが多い

ネットワーク代表として、資金調達・集客・異業種との連携を経験

- 地域には“頼ってほしい”人もいる

「暇やから、手伝うことあれば言うてね」と声をかけてもらうことも多々

- 子育てと協力隊の両立は感謝の連続

地域・市役所の皆さん、保育園、協力隊の仲間、家族に支えられ日々生活